



●熱心に選挙出前授業を受ける生徒たち



選挙出前授業 選挙に備える最年少有権者

7月13日(木)、板倉高校の3年生を対象に「選挙」をテーマにした出前授業が開かれました。選挙権を有する年齢が18歳に引き下げられ、選挙が身近なものとなった高校3年生たちは、スクリーンに映し出される説明やクイズを楽しみながら選挙を学びました。橋本孝平さん(大字大高嶋在住)は、「選挙への関心が高まりました。8月で18歳になるので、次の選挙にはぜひ行きたい」と話してくれました。

●観客を前に熱唱するGENK-1さん



東洋大学板倉図書館イベント ソウルフルライブ

7月13日(木)に、町との地域連携事業として東洋大学板倉図書館でGENK-1(ゲンキ)さんのミニライブが開かれました。ゲンキさんは東洋大学出身で、在学中は相撲部に所属していたそうです。会場では学生だけでなく一般の来場者も耳を傾けていました。町田紗英さん(応用生物学科1年)は「初めて聞いたけどすごく良かった。特に家族のことを歌った歌詞に共感できた」と話してくれました。

総合防災訓練・避難訓練 災害に備え、防災訓練実施

6月25日(日)、第19回板倉町総合防災訓練と第7回板倉町避難訓練が実施されました。

この訓練は、いつ大きな災害が発生してもおかしくない状況を再認識し、町民と各関係機関が連携して災害時対応の訓練を行うことで、もしもの場合に備えるものです。訓練全体を通して町民の約5分の1にあたる2,938人が参加しました。



●バケツリレーにより協力して消火を行う少年消防クラブ

夏の音楽療法 歌と体操でリフレッシュ

7月14日(金)、東部公民館で健康の鉄人教室「夏の音楽療法」が開催されました。参加した51人は、講師の猪之良高明さんの楽しいおしゃべりを楽しむとともに、声を出し、体を動かして心もからだもリフレッシュしていました。参加者のひとり「普段童謡を歌う機会なんてないし、童心に戻ったよう。教室に参加して帰ると、からだが軽くなります。また、参加したい」と話してくれました。



●講師に合わせて体を動かす参加者の皆さん

●素早くホースを延ばす2番員



ポンプ操法競技大会 第1分団優勝

7月2日(日)、板倉消防署において、第44回板倉消防団ポンプ操法競技大会が開催されました。各分団は日頃の訓練の成果を発揮し、素晴らしい操法を披露しました。

優勝は第1分団、準優勝は第3分団、3位は第2分団、第4分団、第5分団。板倉消防団長賞は第2分団が選ばれました。また、最優秀個人賞は、指揮者 小島匡史さん(第5分団)、1番員 荒井邦明さん(第2分団)、2番員 飯島圭介さん(第1分団)、3番員 山田敏広さん(第4分団)、4番員 横塚英信さん(第1分団)が栄誉に輝きました。

●総合優勝を飾った第1分団の放水



●さっそうと競技に向かう消防団員

●ホースを担いで火点に走る1番員



●凛々しく点呼に答える消防団員